

上高地散策

日時：5月11日（水）～5月12日（木）

天候：小雨後快晴

メンバー：M他3名

午前6時。風が強い中、家から歩いて10分のYさんの所に行く。
風は強いものの雨は降っていない。なんとか許せるお天気。
中央高速はすいて上高地に10時過ぎに到着。霧雨。

沢渡からのタクシー運転手さんのお話・・・。
シラカバとダケカンバの違いは？・・・

「1500mを境に下がシラカバ、上がダケカンバである」、「梓川の濁流も明日には綺麗になる」（ホントにそうだった）、「今はニリンソウではなく独身ソウ」（まだ一輪花という事）などなど・・・。
とても面白くて、上高地までがあっという間のお話であった。

観光センターで身支度を整え、おにぎりなどを食べ小休憩。
そこは、外国語が飛び交い外国かと思える程であった。
昔はそんな事がなかったかな～。

計画書を届け、小雨の中、明神へと歩を進めた。
霧雨の中の新緑と空気がとても心地良く、鼻で空気を一杯に吸いながら明神に到着した。美味しい安曇野ヨーグルトを食べ大満足。

それからは、道が壊れていたのので、対岸の道に渡り、歩き、また橋を渡りなおした。途中、見慣れない花もあり、ゆっくり観察しながら歩いた。

ほどなくハルニレの点在した心地よい草原、徳澤園に到着。
そこはニリンソウの大群生があり、何とも可憐で可愛らしい花々であった。
いつも素通りで、中に入る事もなかった徳澤園。
とても歴史を感じさせる素敵なホテルだった。
中は、清潔で生き生きしたお花や絵が飾られていて、お風呂や寝る場所も何もかもがお洒落でステキだった。
しかもあの井上靖「氷壁」の宿でもあり感慨深い。

暖炉のある部屋でゆっくり火を見ながら寛いだ後、美味しい心の込められた食事を頂いた。
目の前を憧れの山にして、こんな散策旅もありかな？とも思った。

翌日は快晴。
ゆっくりと前穂高東壁、陽の光で一気に開いたニリンソウ、愛らしいサルの親子などを見ながら上高地着。
奥穂高から前穂高の山並みを見ながらまた縦走しようと思いを馳せた。

目に染みるような新緑を焼き付けながら上高地を後にし、渋温泉へと向かった。
こんな散策旅もいいかな～。

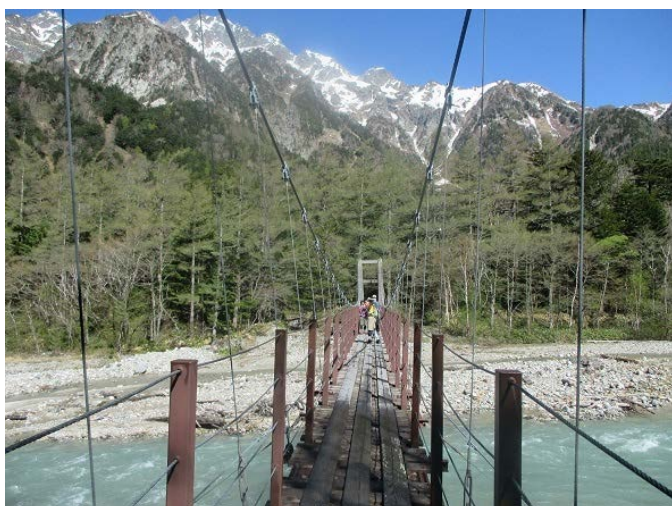
M



ニリンソウ



上高地



新村橋



徳澤園



おさるの親子